

絵本の読み聞かせのお知らせ

毎月第3木曜日の赤ちゃんタイム(10:30~12:00)に絵本の読み聞かせ(11:00~)をしています。ぜひご参加ください。



ピックアップ図書

『ひたひたまで注いでコトコト煮詰めた話』

著:山本ゆり

「着る服がない」「事務作業がとにかく苦手だ」「なにに今この部屋にきたんやっけ…は日常茶飯事」…etc.共感&にやにやが止まらない!たくさん笑って、家族への優しいまなざしにホロリ。明日の元気をもらえるエッセイ&レシピ57篇。



図書館だより

問 町立図書館 ☎889-6400

開館時間/10:00~19:00(土日17:00まで)
休 館 日/毎週火曜日、第4木曜日、祝日



6月 受入予定図書

都合により受け入れが遅れる場合があります
(詳しくは図書館まで)

- ★花のたましい/朱川湊人
- ★日本一ややこしい京都人と沖縄人の腹の内/仲村清司
- ★もっと知りたいミロ/松田健児・副田一穂
- ★小児科看護師が寄り添うはじめての「かたまり」育児/papaPANDA
- ★「ハラスメント」解剖図鑑/宮本剛志
- ★裁判員17人の声/牧野茂
- ★はやくねないとたいへんだ!/サトシ
- ★じゃがじゃがおなべのおふろやさん/つばいじゅり

ホームページは
こちらから



いつでも
どこでも読める
電子図書館



申し込みは
こちらから



学校応援隊 はえばる

ボランティアに協力いただける方は、ぜひお電話ください。

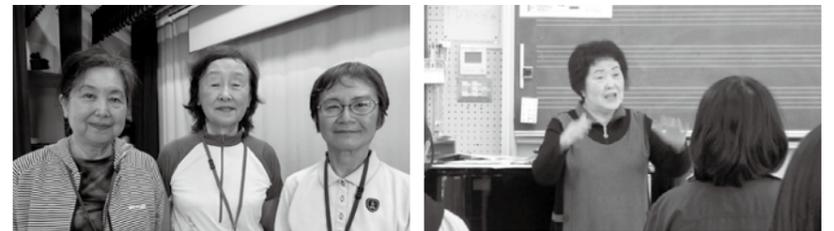
問 中央公民館 ☎889-0568

津嘉山小学校 4月23日~ 翔南小学校 4月25日~ (全6回)

クラブ活動 4学年~6学年

クラブ活動は異学年交流を目的とし、多種多様なクラブで地域の方々から子ども達と一緒に活動を楽しんでいます!

津嘉山小学校のヨガクラブで活動した児童からは「思ったより難しかった」と感想がありました。



▲津嘉山小ヨガクラブ講師
おおしろ おおしろ みほ
大城ひとみさん 大城美保さん
すながわ けいこ
砂川恵子さん(左より)

▲翔南小合唱クラブ講師 およどり あけみ
親泊明美さん

南風原小学校

4月21日

野菜名人になろう!

地域の野菜名人さんをお招きし、夏野菜の植え付けを行いました。また、お世話の仕方を丁寧に教えていただき、児童は真剣にお話を聞いていました。これから「おおきくな〜れ」と声かけをしながら水やりを行い、野菜の成長を学びます。たくさん収穫できますように。



なかまみつる みやぎ としお
▲仲間充さん 宮城俊夫さん
かねもと きよし くしけんえいじ
金元清さん 具志堅榮治さん(左より)

北丘小学校 4月23日・南風原小学校 4月28日 4学年

福祉とは?

4年生は年間を通して福祉学習に取り組みます。今回は、福祉とは何?、町社協の取り組み、ユニバーサルデザインについて講話を聞きました。児童から「福祉は色々な人の幸せってことがわかった!」と感想がありました。



▲町社会福祉協議会
やまかわ ゆきこ
山川由貴子さん

文化の泉 宝物

No.65

問 南風原文化センター ☎889-7399

終戦80年特集④ 戦火をさまよう住民

1945年4月9日、地上戦が始まる中、南風原村役場は日本軍の指示を受け、住民に現在の南城市玉城親原への避難指示を出します。しかし、米軍の攻撃は始まっており、一部の住民にしか指示は届きませんでした。そのため、住民の多くは集落周辺の丘や庭に造った壕などに避難しました。また、親原へ避難してもどこに避難すればよいか分からず、南風原に引き返した人や南部へ向かい戦場に巻き込まれた人もいました。

「ここに爆弾を落とすくれ」と祈ったそうです。しかし、爆弾は落ちてこなかったため、南へ避難しました。最後は、喜屋武岬の自然壕に隠れていました。どうせ死ぬという覚悟で丘の上にも行った。アメリカに殺されてもいいよ。」と父が言い、壕を出たところで捕虜になりました。写真は、その後収容所に向かう際に撮られたものです。

このように死ぬ覚悟をもって捕虜になった人もいれば、捕虜になると殺される・乱暴されるといふ情報を信じて逃げまどい、命を落とした人もいます。

最終的に沖繩戦で南風原住民の約44%が命を落とされています。4人中1人が命を落とされたといわれる沖繩戦の中でも、南風原は高い死亡率であるといえます。(保久盛)

文化センターの展示に収容所へ向かう金城義夫さん(当時9歳)家族を写した写真があります。一家は、津嘉山から現在の南城市糸数を経て糸満へ避難しますが、南へ向かうにつれて逃げ場が少なくなりました。ある時、大きなガジュマルのそばに隠れていると、日本軍兵士に「沖繩の島は日本軍が守るから、君たちは出て行け!」と言われて追い出されました。その時、義夫の父が「もう家族と一緒に死にましよう」と言って、丘を上り、車座になり、



▲収容所へ向かう家族
(沖繩県公文書館所蔵)

はえばる エコセンターだより

町内にお住まいの方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。お申し込みはエコセンターへ来店、または電話にて予約ください。※各講座の詳しい持ち物・注意事項は予約の際にお伝えします。

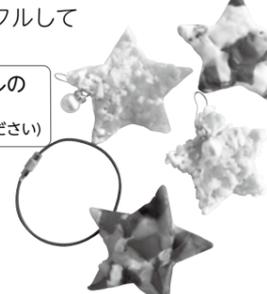
問 はえばるエコセンター ☎889-4425

ペットボトルキャップのチャーム作り

ペットボトルキャップをリサイクルしてチャームを作ります。

持ち物 手袋、洗ったペットボトルのキャップ5個くらい
(ない場合は予約の際にお伝えください)

【日時】6月9日(月)
10:00~12:00
【場所】はえばるエコセンター
【料金】300円
【定員】4人



小さなポーチ作り

お家で溜まっているハギレやシャツを再利用して名刺入れ作り。

持ち物 ハギレやシャツ

【日時】6月13日(金)
10:00~12:00
【場所】はえばるエコセンター
【料金】500円 【定員】4人



リユース制服の寄附お願いします

【場所】はえばるエコセンター

町内から通える学校の制服・学用品のリユース活動をしています。南星中学校のシャツやズボンが特に足りていません。

寄付したい方 洗濯、できればアイロンがけをした後、清潔な状態でお持ち込みください。状態が悪い物やペットの毛が付着したものは譲り先が見つからないため受け付けできない場合があります。

もらいたい方 サイズを確認し身分証を持参してご来店ください。町内にお住まいの方は無料です。



令和6年度は1396点の学生服や学用品をリユースすることができ、ごみ減量となりました。皆様ご協力ありがとうございます。

